

我が家のハッピーリフォーム!!

本牧満坂 I様より

「すてき!!」、「凄い!!」、「楽しいね、ママ!!」。これは、リフォームを終えた我が家を見て、家内と私、そして子どもたちが最初に口にした言葉です。今回のリフォームには、本当に感動しました。

私どもの家は、中古の一戸建てです。この家を購入する前、案内してくれた不動産屋さんは、この家について「将来は、ここをこうすれば 3LDK の間取りに拡張できます」と説明してくれました。その拡張性に魅力を感じて、私どもはこの家を購入しました。それから 6 年が経過し、2 人の息子たちはやんちゃ盛りになりました。増え続けるおもちゃや本を片付けるには、我が家の収納は充分ではありません。「いよいよリフォームの時期かな」、私達夫婦は、昨年の秋頃からそんなことを思うようになりました。

年が明けて間もない 1 月初旬、私はインターネットを利用してホームプロの会員になり、希望するリフォームの内容を伝えました。すると、すぐに 8 社から声を掛けていただきました。いろいろと検討した結果、現地調査は 4 社に絞ってお願いしました。キューブ様も、その中の 1 社でした。実は、検討の段階でキューブ様は一度、現地調査の候補から外れていました(その理由は、後で述べます)。しかし、現地調査に来た 1 社に疑問を感じるころがあったため、キューブ様にも声を掛けさせていただきました。我が家のリフォーム成功の歯車は、ここから動き出したとあって良いでしょう。

2 月の中旬、キューブ様の代表とデザイナーのお二人が現地調査に来てくれました。不公平にならないよう、私どもは、要望事項を他の 3 社と同様にお二人にも伝えました。代表が近所のご出身という所から話に花が咲き、キューブ様の現地調査は、和やかな雰囲気で行われました。

キューブ様から驚きのプランが提示されたのは、それから 2 週間ほど後の事でした。そのプランは、1 階のキッチンと 2 階に移し、2 階の寝室を 1 階に移すという、私どもが考えても見なかった内容だったのです。確かに、現地調査の際に私どもが伝えた内容は網羅されていましたが、このような大がかりなプランが提示されるとは、夢にも思っていませんでした。私どものリフォームプランは、あくまでも購入時に不動産屋さんが示してくれた 3LDK の延長線上で、壁を作って部屋を増やすイメージだったからです。これだけの大がかりなプランですから、提示された費用も、私どもの予算をオーバーしていました。しかし、そのプランに心が傾いたのは、デザイナーの方がおっしゃった次の言葉でした。

「施主様の考えるリフォームプランが悪いわけではありません。しかし、2 人の男の子が成長した時、本当にその間取りでよいのか、私どもには疑問です。全ての部屋が中途半端な間取りとなり、十分に機能するようには思えません。せつかくリフォームをするのであれば、お子さん達が成長した 10 年後を見越して、しっかりとリフォームをした方が良いと思います」。

デザイナーの方は、そうやって完成予想図を見せてくれました。この予想図がとても素

晴らしく、「今の我が家が、本当にこのようになるのか」と信じられないほどでした。私どもの心の傾きは、キューブ様のご提案に向かってより一層大きくなりました。

他の3社のうち、2社は特にプランを出さず、私どもの要望したとおりの内容で、かかる費用を提示しただけでした。1社は、プランを出してくれましたが、キューブ様のプランには及びませんでした。このとき初めて、業者のやる気と能力には、これほどまでに差があるのかということを実感しました。そして、数社に競合させて相見積りをとった方が良いということの意味と重要さがわかりました。私どもがお願いした現地調査に応じて、4社からお返事をいただいたわけですが、正直に言ってしまえば、私と家内の気持ちは、キューブ様のプレゼンテーションを聞いた時に「これで行こう!!」とほぼ決まっていたのでした。

内定後は、代表とデザイナー、私と家内の4人で約2ヶ月に渡って入念に打ち合わせを重ね、仕様を決めました。そして、契約を交わし、工事がスタートしたのは、夏本番で暑い盛りの7月下旬でした。リフォーム期間中は、近くのレンタルルームを借りて荷物を預け、家内の実家にお世話になり、そこから毎朝、出勤前に現場の我が家に立ち寄って大工さんに「今日もよろしくお願いします」と挨拶する毎日が続きました。キューブ様自慢の大工さんは筋金入りで、かなりの腕利きでした。お人柄もよく、私が仕事で不在でも、安心して工事をお願いできました。大工さん、代表、デザイナーの3人のコミュニケーションは、本当に息がぴったり合っているという感じで、約1ヶ月にわたる工事は、ほぼスケジュールどおり順調に進行しました。

9月初旬、私どもは久しぶりに自宅に戻りました。リフォームの仕上がりは、提案の時にいただいた完成予想図と全く違わず、家内も私も心から満足しました。その気持ちは、冒頭に記したとおりです。

キューブ様は、決して大きい会社ではありません。当初、私どもがキューブ様を検討の候補から外してしまったのも、会社の規模から判断したことでした。しかし、この判断が大きな間違いであったことは、上述のリフォームの経過を読めばおわかりいただけると思います。リフォームの成功の鍵は、決して会社の規模ではなく、「施主の幸せ」を第一に考えてくれる会社かどうか、そして、それを実現できるだけの施工技術と管理能力を持っているかどうか、だと思います。

これは、後日、ご近所の方に聞いた話です。8月下旬、予定していた家族でのキャンプが大雨で中止になりました。完成間近ではあるものの、未完成の我が家に泊まれるかどうかをキューブ様の代表に電話で確認すると、軽い調子で「大丈夫ですよ」とのお返事をいただきました。我が家に行くと、リフォームした部分は掃除が済まされ、十分に生活ができるようになっていました。実は、ご近所の方によると、私どもが急遽戻ることになったので、キューブ様の代表とデザイナーの方が前夜、遅くまで残って掃除をしてくれていたそ

うです。代表は、きっと「心配をかけないように」とのお心遣いから、軽い調子でお返事をくださったのでしょう。私どもは、お二人がそんな苦勞をされていたことに全く気がつきませんでした。お二人とも他に現場を抱えていてお忙しいのに、私どものためにそこまでしてくれていたと聞き、心からありがたく思いました。そして、施主のことを第一に考えてくれる姿勢をととても素晴らしいと思いました。

キューブ様は、大きな夢と喜びを与えてくれる会社です。これからのますますのご発展をお祈り申し上げます。